

Nestor®

省力・省エネ機器のベストパートナー

給湯太郎 業務用エコキュート 自然冷媒(CO₂)ヒートポンプ式給湯機



貯湯槽

本体

“高効率・ローコスト・クリーン・安全” 業務用給湯機の決定版！

「エコキュート」の名称は電力会社・給湯機メーカーが自然冷媒ヒートポンプ式電気給湯機を総称する愛称として取り扱っております。

給湯太郎 業務用エコキュートは高効率で経済的

■高効率給湯 COP3.8*1 を実現!

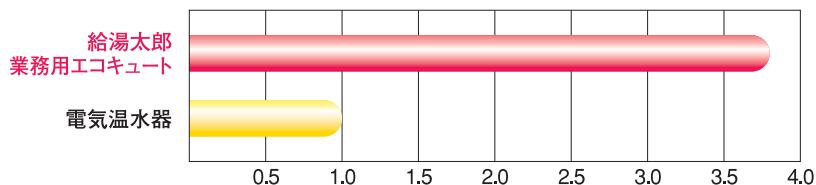
Powerful

高効率=COP3.0

*1 COP (Coefficient of Performance) とは、消費電力あたりの加熱能力をあらわす単位。数値が大きいほど効率が低いことを示します。

自然の冷媒(CO₂)と大気熱を利用することによって、給湯の熱エネルギーをつくるCO₂ヒートポンプ式を採用しました。

■COPの比較



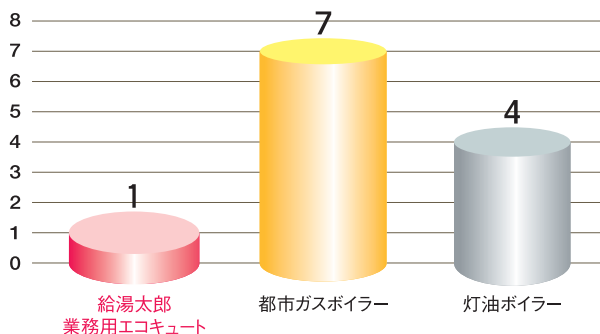
■エネルギーコストは都市ガスボイラーの1/7!

Economy

ローコスト

高効率運転しながら、さらに経済的な深夜電力を使ってお湯を沸かすためランニングコストを大幅に節約できます。

■ランニングコスト比較 (定格条件下90℃のお湯を毎日3,000リットル沸き上げた場合)



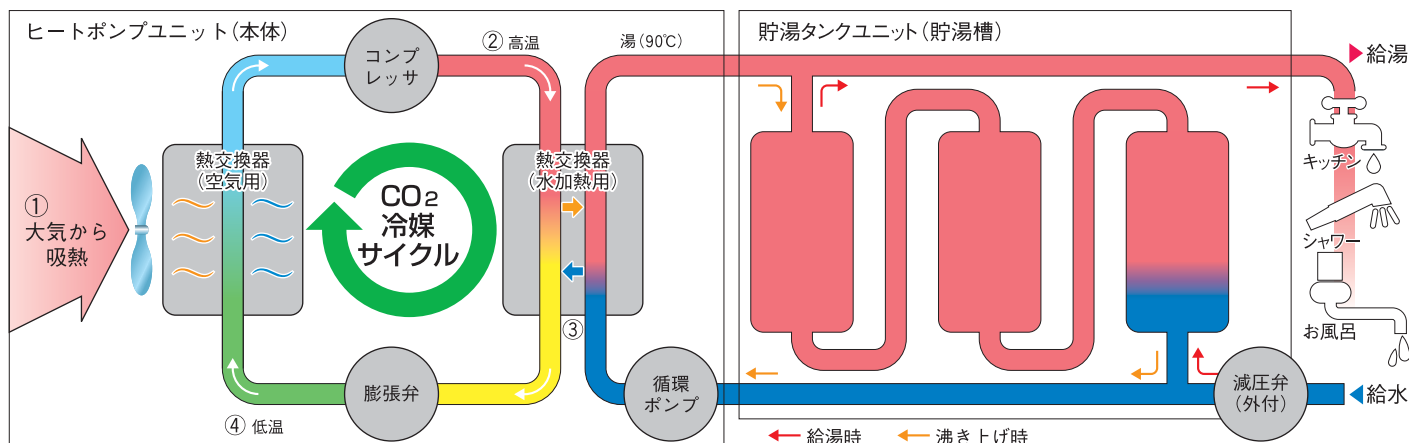
〈算出条件〉

- ① 給湯太郎 業務用エコキュート : 電力単価 4.28円/kWh (60Hz時)
- ② 都市ガスボイラー : ガス単価 102.98円/Nm³
単位発熱量 9900kcal/Nm³
機器効率 0.88
- ③ 灯油ボイラー : 灯油単価 40円/L
単位発熱量 8240kcal/L
機器効率 0.8

給湯太郎 業務用エコキュートの仕組み/システムフロー

■90℃の高温沸き上げ

給湯太郎 業務用エコキュートは、CO₂冷媒による高い加熱能力によって、フロン系冷媒では不可能であった90℃高温沸き上げを実現。外気温度マイナス10℃条件下でも高温沸き上げが可能です。また、貯湯タンクユニットの組み合わせによって、施設・設備の規模に合わせて、高温のお湯を大量に供給することができます。



- ① ファンで大気から吸熱し、熱交換器(空気用)で大気熱を集め、冷媒(CO₂)に熱を伝えます。
- ② 熱を持った冷媒はコンプレッサで圧縮され、さらに高温になります。

- ③ 高温になった冷媒の熱を熱交換器(水加熱用)で水に伝え、お湯を沸かします。
- ④ 熱を失った冷媒は、再び熱交換器(空気用)へ送られます。

齊的、しかも自然冷媒(CO₂)でクリーン運転。



今世紀、深刻な問題である地球温暖化現象とオゾン層の破壊。その大きな原因となっている物質の1つにフロン系冷媒があります。このフロン系冷媒は、エアコン、冷蔵庫、給湯機などに使用されていますが、地球温暖化防止会議(京都議定書)では、2012年までに温室効果ガスを国内で6%削減(1990年比)することがかけられています。

給湯太郎 業務用エコキュートは、自然界に存在するCO₂を冷媒に使用することによりオゾン層破壊係数=0(ゼロ)、地球温暖化係数=フロン系冷媒の1/1700を実現しました。高効率の熱エネルギーを活かしながら、地球温暖化抑制にも大きく貢献します。

■CO₂排出量も大幅に削減!

Ecology
クリーン・脱フロン

加熱能力が高く、給湯エネルギー消費量を押しえられるので、
燃焼系給湯機に比べCO₂の排出量を大幅に削減できます。

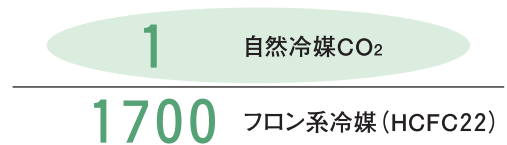


■オゾン層破壊係数=0(ゼロ)!

地球温暖化係数=フロン系冷媒(HCFC22)の1/1700

オゾン層に深刻な影響を与えるフロンに代って、自然界に存在するCO₂を冷媒に使用するため、地球環境に配慮した給湯機です。

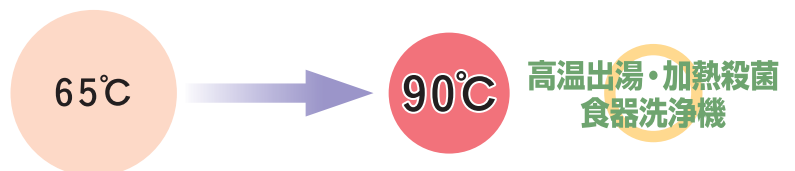
■地球温暖化係数



■90℃の高温出湯!省スペース・殺菌効果可能。

Safety
安全・安心

90℃で沸き上げて高温貯湯^{*2}を実現。設置スペース、荷重とも縮小が可能となりました。また高温出湯が可能なおことから、食器洗浄機へ直結供給し、HACCP管理方式への対応が可能です。



■自動運転、火を使わないので安全・安心。

自動沸き上げはもちろん、タイマー(外付)による運転、温度センサーによる温度管理など、使用環境に合わせて自由に設定可能です。さらに自動的に追い掛け運転を開始します。また燃焼部をもたないので火災の恐れがなく安全です。

*2 本体で90℃に沸き上げたお湯は、本体から貯湯槽までの配管距離や貯湯槽での外気温などの使用環境、時間経過によって降下します。

